



# バイオマス系原料中の構成糖の分析

JAPAN TAPPI 紙パルプ試験方法 No.42:2000に基づく試験の対応が可能です。

## 構成糖分析とは

セルロース、ヘミセルロースは木質バイオマスを構成する成分です。これらは多糖類として知られていますが、多糖類を構成する単糖類は、グルコース、アラビノース、マンノース、ガラクトース、キシロースが主要成分です。広葉樹、針葉樹、草本系などバイオマスの種類によって構成単糖が異なっており、その把握が利用技術開発において重要となります。

当社では、JAPAN TAPPI 紙パルプ試験方法 No.42:2000 木材パルプおよびパルプ材—炭水化物組成分析方法—ガスクロマトグラフ分析法に基づく試験をお引き受けしております。この試験は、多糖を酸加水分解により単糖に分解し定量分析する手法となっております。

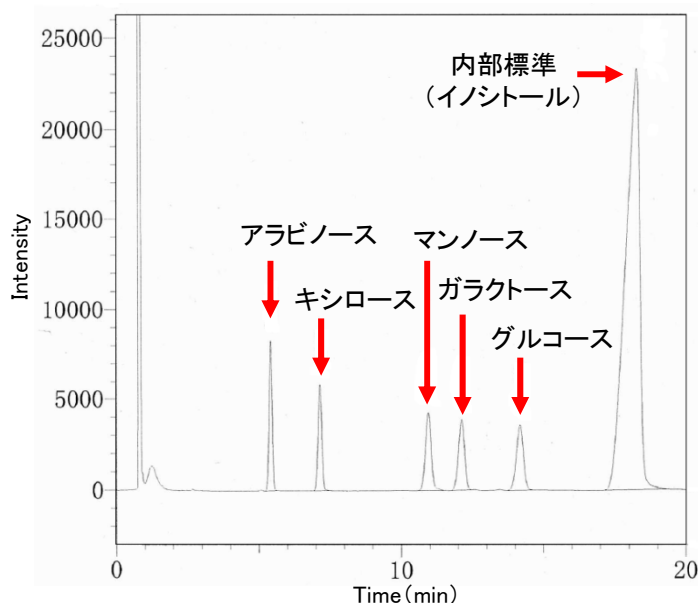
## ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器(GC-FID)による単糖類の定量分析

主要単糖5種(グルコース、アラビノース、マンノース、ガラクトース、キシロース)の定量分析を承っております。

### 試験フロー



### クロマトグラムの例



標準試薬混合液の分析結果



GC-FID分析装置

バイオマス系原料の主成分分析(セルロース、リグニン、ホロセルロース等)も承っております。  
バイオマスの分析は当社へお任せ下さい！



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2016 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.  
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。